

産業厚生委員会委員長報告(管内視察)

1. 視察日 令和4年5月9日

2. 視察施設数 10件

3. 事務調査結果 下表のとおり

所管課	施設名	質疑内容	答弁内容
水道局	三高配水池	三津・高岡地区の分は、三高配水池だけで賄っているのか。原池からの分が、岬の方で管の接続がされていなかったか。	一応、管は繋がっているが、弁で仕切っている。高岡までは、原池の水を送った経緯はある。
	山山水源地	山田のポンプ場は、どこに送っているのか。	大谷の配水池と三津の配水池、両方に送っている。
今回の湯水で、給水制限を三津地区に発令した理由は。		両ポンプを回した時に取水の水位が下がって吸えなくなり、一台ずつで回すことになった。そのため、止める所をどこにするかを湯水対策本部で決めた。大谷地区からの配水されている地区は、透析を行っている病院等があり、病院は人の命が関わるので、病院の方を優先した経緯がある。	
建設土木課	大平線東ノ川橋	市道の認定や抹消は行ったか。	道路区域の変更と路線の廃止と新たな認定は行っている。
		橋梁工事を行う時に、橋梁台帳は直さなくても良いのか。	台帳の方は、紙ベースであるので、差替更新を行う。
保健介護課	あつたかふれあいセンター	利用料はいくらか。	基本無料。ただし、食事代とか何かを作った時の材料費の実費負担はいただいている。
		参加者の年齢制限や基準はあるのか。	利用に対する年齢制限は、特にない。基準としてあるのは、室戸市民ということ。
		もう少し小規模でもいいので、他の地区でもこういった事業はできないか。	現在、あつたかふれあいセンターとしては、サテライトで、吉良川市民館でも週1回行っているが、さらに他の地区で行うことは、今の現状では、スタッフの数が少なく、難しい。介護予防の集まりとして「げんきクラブ」等が各地区にあるので、そちらも活用していただきたい。
地域医療対策課	室戸診療所	各診療科の医師は、固定した医師なのか。	整形外科は月1回で、県立あき総合病院から1名の医師が来る予定となっている。眼科については、高知大学医学部附属病院からの派遣で毎週水曜日に医師が交代で診療に来ることとなっている。内科は院長先生が行うが、月1回高知大学医学部附属病院の先生も来てくれることになっている。
		スタッフの状況は。	合計で26名確保しており、看護師8名。検査技師は、まだ雇えておらず、看護師と先生で協力して行うこととしている。理学療法士は1名である。
		委託契約期間は。	指定管理期間は令和3年7月15日から令和7年3月31日までの約3年9カ月であり、その内開所するまでの準備期間は約9カ月である。
市民課	清浄園	室津川への放流水の基準は。	県の基準をクリアした水が放流されている。水質分析については、クリタス社内で検査を行っている。
	リサイクルセンター	浸水区域の範囲になっているが、移転についての協議はどのような状況になっているのか。	位置としては、旧芸東衛生組合の事務所付近で協議している。移転の見積もりも取っているが、高額なものであり、検討が必要な状況である。

所管課	施設名	質疑内容	答弁内容
観光ジオパーク 推進課	ジオパークセンター	入り込み客はコロナ前と比べ、増える傾向になりつつあるか。	ゴールデンウィークの状況では、1,000人を超えた日は無く、まだコロナ前には戻っていない。
		観光ジオパーク推進課は、室戸ジオパーク推進協議会の仕事をどこまで行っているのか。	室戸ジオパーク推進協議会の会計の事務担当が1名なので、職員がチェックのサポートをしている。また、シェルター見学とか、スタッフが足りない時にもサポートしている。
	MUROTO base55	令和2年・令和3年の宿泊と食事をした人数が示されているが、この数で、経営出来ているのか。	指定管理者である炭玄に出してもらった資料によると経常黒字となっている。なお、この収支報告には賃金が参入されていない。
		宿泊施設周辺の公園や相撲場の利活用を図れば交流人口の増につながると思うが、協議等は行っていないのか？	生涯学習課が開催している利活用検討委員会で、相撲場等の利活用を要望している。今後いろいろ要望していきたい。 中央公園利活用検討委員会での利活用の提案や、管理所管の生涯学習課と協議して検討していきたい。
産業振興課	アクア・ファーム	一般会計から絶えず繰り入れされているが、経営者としての努力は。	昨年度、アクア・ファームの経営状況などを含めた支出の状況調査を行っており、維持管理等の費用や脱塩水の販売にコストがかかっている。見直しが必要で、今後検討して行きたい。
		現在、電気や燃料等の値段が上昇している段階で、単価上げという検討をしてみる余地はないのか。	平成15年4月1日に改定を一度行っており、それ以降は一度も改定を行っていない。燃料など諸々の材料が高騰している中で据え置きで行くのかどうかは、全国の深層水の取水、販売の事例を見ながら、検討していきたい。